

●授業者反省・質疑応答

林先生 うごくうごくわたしのおもちや
手立て3つ

ロイロノートを活用して考えている児童もいる。「電池が飛び出ないようにどうしようか」など次に何をするかを主体的に考えて記述していた。

横のつながりが弱い。スーパー研究員カードをもとに友達と意見交流を設定した。時間を設定したが、交流というよりも、意見の伝え合いだけにとどまってしまった。意欲的に作業できていたが、振り返りの時間の確保ができず、子どもたちに残念な思いをさせてしまった。

須田先生 発表会の計画書を作ろう

手立て1つ

本で調べるのが難しかったか。9グループを数が多く、見切れなかった。聞きに来るグループはいいがそれ以外のグループが見られない。ロイロの資料箱の資料に到達することができない児童もいた。振り返りの時間を確保できなかった。

活動前の子どもの知識量はどれくらいか？

質問（門脇先生→須田先生）

ざつのうや学童服を触らせてもらった。40冊程本を借りて読んでいた。クラス間で伝え合っていたが、正しい知識を伝えていたか怪しい。また、児童の個人差が激しい。

6 研究協議

<生活科分科会>

場の設定は工夫されていた。教師の見本を提示しなかったため、できなかった児童については手立てが必要。見本、教科書、友達の例など。

意見を聞ける子、聞けない子がいる。工夫という点で手が止まってしまった。教師の介入がないと難しい。児童同士は難しい。

<総合分科会A>

手立てについて

グループへの切り返しがよかった。しかし、一人で見切るのは難しいため、学年で担当を分けるなどするとよい。意図的なグループ分けをするための、興味のもたせ方ができるとよい。

書くことができない児童の動画を撮影し、後で確認する。

<総合分科会B>

手立てについて

子どもの疑問への切り返しが豊富だった

子供から出てほしいところが出なかった。ほんの活用の仕方。わかったつもりになっていないか。

教師の誘導が、子どものやりたいことにマッチしていないのではないか

課題設定をもう少し練られるのではないかと。情報収集の時間になっている。切り返しが、子どもの負担になっているのではないかと。子どもによって情報量に差がある。

主体的か

子どもが学んだことが活かされているか判断できない。探求的ではない。

7 講義・指導講評（戸田市教育委員会 若村先生）

子どもの学びを捉え、「解釈する」教師の行為
形成的な評価を行う中での指導の改善に機能させる教師の行為
→環境構成がよかった、関りがよかった
体験の充実→表現の工夫、振り返り→体験の充実→・・・

生活科 内容（6）自然や物を使った遊び
遊びの面白さに気づく、自然不思議さに気づく→自分の変容に気づく
本時の目標 思考・判断・表現の基礎

グループでの相談ができていた、友達の様子を見て改善できていた

→意見交換の時間の設定は必要なかったのではないか

その場にある道具やゴールとなる線等、さりげなく準備しておく子どもたちは活用して工夫する
単元全体を見据えた声掛けと意図的な環境設定

I C Tを活用した振り返りの蓄積◎

→自分の成果、変容をあとから確認できる。

環境構成図→どんな環境にすると子どもたちがどんな活動をするかを想定するとよい

総合

①学習過程を探求的に

②他社と協働して主体的に→探求のプロセス

探求の過程を経由しなければならぬ→問題解決能力を身に付けていく

今回の授業では課題の設定と探求する時間が圧倒的に少ない

→ゴールはどこなのか 今回であれば平和？

一般論的平和 三人称的・社会的

あなたにとっての平和（概念的） 一人称的・個人的（人によって変わる）

→この二つの往復が大切（一般論的なものを定着させて置くことも大切）

昔と今の比較をすることで整理・分析でき、「平和」の要素に気づいていく

「平和」とはなにかについて探求していく

学習活動の設定

何のためにその活動を行うのかの目的を明確にしなければいけない

本時の目標（評価規準）は何だったか？

→目標と評価規準の整合性を取らなければならない

子どもたちのようすから考えなければならない

「伝える」その先にあるねらいについて、子どもと共有できていたか？

→相手意識と目的意識の両立

調べ学習にとどまっていないか

探求課題とは「何について学ぶか」

→探求課題とは 地域や学校特色に応じた課題（重要） 児童の興味関心に基づく課題

資質能力とは「どのようなことができるようになるか」

探求的な学習とは「知的な相互作用と知的な活動が連続・発展する学習」

質問（野末先生→若村先生）

課題設定はどのタイミングで行うのか。必ずしも最初に来るわけでない。大切なのは、子どもたち自身が今どんなことを目的として調べているかが認識していることが大切

1 次地域の方の話聞いてもった疑問から全体の問いをもつ。全体で何をやっているのか目的意識を共有していく。

2 私たちには何ができるのか。